

Mar. 2025 Vol. 272

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

第2弾 令和7年度人材育成 事業 受講生募集のご案内

■□ 自社でできる設備保全技術研修 □■

ねらい

生産活動に欠かせない機械設備を安心して使えるように維持するには、点検箇所をはじめ交換のタイミング、潤滑や締結などに対する正しい知識と技能が求められる。そのため、工具の使い方等、基礎的な要素を学んだ上で、実機での実践教育を行い、トラブル（故障）を避けるための保守、点検、予防方法を学び、ゼロ故障管理を習得する。更に、グループワークや議論することで、保全士同士の交流を図る。

めざすところ

設備が壊れてからでは遅い

壊れる前に直せる保全士

受講資格：保全業務経験者とする。

ただし、経験年数は問わない。

会場：高度ポリテクセンター

(千葉市美浜区若葉3-1-2)

定員：20人（最少開講人数：10人）

受講料：107,800円（税込み）/人

申込み〆切り：4月11日（金）

日程（予定）：

	開催日	内容
第1回	5/19(月)～20(火)	締結
第2回	6/4(水)～5(木)	電動機周りのメンテナンス方法
第3回	7/14(月)～15(火)	空気圧装置のメンテナンス方法
第4回	9/8(月)～9(火)	油圧装置のメンテナンス方法
第5回	11/10(月)～11(火)	生産現場に必要な管理手法

■□ 鍛造設備保全マイスター育成塾

柱Ⅲ：センシング技術及びIoT、AIの適用 □■

概要

鍛造設備保全のDXの取り組みに向けて、「センシング技術、AI・IOT、DX」に関する最新の技術情報や活用事例を学び、実習・見学・グループワーク等も取り入れ、設備保全の課題解決に向けたデジタルツールを活用した企画を立案する等、実践的で全員参加型の講習会です。

受講対象：受講対象：鍛造設備の保全経験者もしくは、鍛造設備保全業務を目的としたDX推進、鍛造生産ライ

ンの革新に向けたDX推進の業務を担っている方

定員：20人（最少開講人数：10人）

受講料：会 員183,700円/人（税込み・テキスト代込み）

非会員367,400円/人（税込み・テキスト代込み）

※第1回から第3回（1泊2日×2回と1日）の費用です。

（第1回第2回計4日分の昼食代を含む）

※宿泊費用、会場までの交通費は、含まれません。

※受講を途中で止められましても、返金はいたしかねますのでご了承ください。

申込み〆切り：4月11日（金）

日程（予定）：第1回 5月22日（木）・5月23日（金）

第2回 6月9日（月）・6月10日（火）

第3回 8月21日（木）

詳細は当協会HP (<https://www.jfa-tanzo.jp>) をご覧ください。

人材育成事業報告

◆令和6年度鍛造マネージャー育成塾コース 「科目12 工場管理」実施

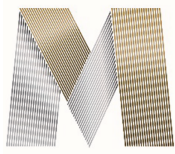
去る2月18日（火）～19日（水）にウインクあいち及び大同特殊鋼（株）知多型鍛造工場において、科目12工場管理を実施しました。

第1日目は、ウインクあいちにて座学研修を行いました。工場の管理監督者として安全や健康に配慮出来る視野を持つことを目的として、日常的な安全管理の事例のほか、トヨタ式生産方式を通じた改善の進め方を学びました。

第2日目は、大同特殊鋼（株）さつき館にてリスクアセスメント演習と労働安全衛生法に関する講義の後、知多型鍛造工場を訪問し、製鋼・連铸・型鍛造工場の見学と危険体感塾を体験しました。

特に危険体感塾では、玉掛危険体感や電気危険体感など計4項目を体感しました。過去に発生した労働災害を再現した設備を使用することで、具体的なイメージをもって不安全行動・不安全状態の恐ろしさを疑似体感することができ、ルールと手順を守り、安全性を高めることの重要性を学びました。





INTERMOLD 2025
金型展2025
金属プレス加工技術展 2025

会期：4月16日(水)～18日(金)
会場：東京ビッグサイト 東4・5ホール

特別協力 鍛造加工技術フェア

INTERMOLD2025/金型展2025/金属プレス加工技術展2025に、特別協力「鍛造加工技術フェア」として、下記企業が出展します。

出展企業 14社



- | | |
|---------------------|--------------|
| 近江鍛工株式会社 | 東福鍛工株式会社 |
| 大塚鉄工株式会社 | 日亜鍛工株式会社 |
| 岡田工業株式会社 | 株式会社丸富五十嵐製作所 |
| 株式会社ゴーシュー | 株式会社峰山鉄工所 |
| 阪村精圧株式会社 | 株式会社ミヤジマ |
| 知多工業株式会社 | 理研鍛造株式会社 |
| KAKUTAテックフォーミング株式会社 | |
| フォージテックカワベ株式会社 | |

また、鍛造加工技術フェア 特別講演として、下記内容のトークセッションを予定しています。ぜひこの機会にご来場ください。

【【初開催】女性目線で語る鍛造の魅力】

■ファシリテーター：

東福鍛工株式会社
代表取締役副社長 田中 君枝 氏

■登壇者：

近江鍛工株式会社	矢野 美也 氏
岡田工業株式会社	伊藤 梨々香 氏
株式会社ゴーシュー	永井 志保 氏
理研鍛造株式会社	町田 香織 氏

■日 時：4月17日(木)12：00～12：45

■会 場：オープンセミナー第2会場
(東5ホール内)

■内 容：

目まぐるしく変化を続ける国際経済社会において、各鍛造会社は企業存続に向けて様々な取り組みを展開しております。このような状況下において、この度、鍛造業界で活躍している女性たちを「鍛造華鍊(かれん)」と称し、鍛造業の魅力をはじめ、人手不足の問題、会社での気づき、職場環境改善などについて、女性の視点から、鍛造業界について語ってまいります。



MF-TOKYO2025

第8回 プレス・板金・フォーミング展

主 催：(一社) 日本鍛圧機械工業会/日刊工業新聞社

『鍛造ゾーン』 出展企業募集中！

2月号にて予告しましたとおり、来る7月16日(水)から19日(土)に東京ビッグサイトで開催されるMF-TOKYO2025(第8回 プレス・板金・フォーミング展)に【鍛造ゾーン】を出展いたします。

前回同様、会員の皆様に広くご利用いただけるような企画を立案いたしますので、各社の技術や独自製品の紹介、ビジネス領域の拡大やコミュニケーションの場として、是非ともこの機会をご活用いただきたく、出展のご検討をよろしくお願い申し上げます。

期 間：2025年7月16日(水)～19日(土)

会 場：東京ビッグサイト 東ホール4・5・6・7・8

出展費用：1ユニット 130,000円(税込み)

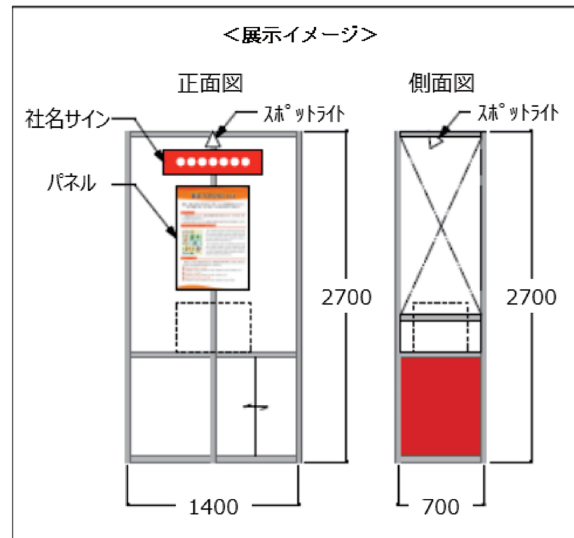
※複数ユニットの申込みも可能です。

ユニット仕様

- ・社名サイン
- ・展示台(扉・鍵付) 1台
- ・スポットライト 1個
- ・コンセント 1口

- 注) 1. 総ユニット数 43ユニットです。
2. 上記ユニット以外は有償になります。
3. 大がかりな設営※や撤去につきましては、予めご相談ください。

※設営とは展示物の搬入から展示まで、撤去は展示物の梱包・発送までとします。



出展特典：

- (1)鍛造ゾーン内モニターにて、出展企業紹介動画を放映します。
 - (2)出展企業のガイドブックを作成し、来場者に配布します。
- その他の特典についても企画検討中です。

申込締切：2025年4月末日

※募集ユニット数に達し次第、締め切ります。

詳細につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

[<https://www.jfa-tanzo.jp/news/mf-tokyo2025/>]



第24回国際鍛造会議

International Forging Congress ～ Forging a Sustainable Future ～

第24回国際鍛造会議の概要が届きましたのでご案内します。ツアーを企画しますので、会員の皆様には後日、参加募集のご案内をいたします。

【主催】 EUROFORGE

<https://www.ifc2025.com/>

【開催場所】 ドイツ・フランクフルト Kap Europa

【日程】 2025. 10. 5 (日) - 10 (金)

10月5日(日)	Welcome Reception
10月6日(月)	会議・展示
10月7日(火)	会議・展示 Farewell Dinner
10月8日(水)	
10月9日(木)	工場見学ツアー
10月10日(金)	

委員会開催報告

■技術研究委員会

開催日：3月5日(水)15：00～

会場：日本鍛造協会 会議室

【議題】

1. 広報誌JFAへの技術系記事提供 輪番について
2. 技術ウェビナーについて

【講演】

『DXpower 製造業がひらく日本型DX』

講師：DXpower 代表 辻野 一郎 氏



市場調査委員会報告

受注見通し調査結果 (令和7年1月～3月期)

■調査対象企業数 143社

■回答社数 35社 (回答率24%)

○自動車向け○

★横ばい：3社

【増加】

11 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	3	3	1	1	-	-	1
自由鍛造	1	-	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	1	-	-	-	-	-	-
合計	5	3	1	1	-	-	1

要因：・海外向けの需要回復。

- ・主要取引先(トラック向け)からの需要増のため。
- ・国内自動車OEMの北米販売好調による受注増。
- ・顧客の生産拠点再編に伴う国内生産回帰による受注増。
- ・新規部品の生産量増加。
- ・昨年同期比では、新車効果で需要量増となった。

【減少】

11 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	3	4	1	1	1	-	1
自由鍛造	-	-	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	-	-	-	-	-	-
合計	3	4	1	1	1	-	1

要因：・海外の自動車OEMの量産打ち切りによるお客様からの受注減。

- ・日系メーカーの中国での生産減少。
- ・商用車向け認証問題により減少続いている。
- ・昨年と比較すると各自動車メーカーの生産調整の影響で減少している。
- ・大手メーカーの生産拠点変更による一時生産停止。

○産業機械・土木建設機械向け○

★横ばい：7社

【増加】

3 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	1	1	-	-	-	-	1
自由鍛造	-	-	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	-	-	-	-	-	-
合計	1	1	-	-	-	-	1

要因：・建機海外向け特需による。

- ・海外需要増。

【減少】

19 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	-	1	2	2	7	-	2
自由鍛造	-	1	-	-	-	1	-
リング鍛造	-	-	1	-	-	-	-
併業	1	1	-	-	-	-	-
合計	1	3	3	2	7	1	2

要因：・建機部品、在庫過多のため在庫調整が年度末まで続く。
 ・海外拠点（工場、ディーラー）在庫調整→輸出货量減少→生産計画減少。
 ・中国向け需要減。
 ・鍛工品から製函品への変更があったため。
 ・一般向け産業機械が減少。
 ・建機向け部品の需要が低調。
 ・北米販売不振
 ・産機向け汎用エンジンの製造廃止による受注減。

○輸送機械向け需要量○

★横ばい：7社

【増加】

1 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	-	-	-	-	-	1	-
自由鍛造	-	-	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	1	-

要因：・中東特需（オイルマネー）。

【減少】

11 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	-	1	1	1	3	-	2
自由鍛造	1	-	1	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	1	-	-	-	-	-
合計	1	2	2	1	3	-	2

要因：・不正問題回復遅れ。
 ・マリン用エンジンメーカーの減少
 ・航空機メーカーの生産減。

○その他向け○

★横ばい：6社

【増加】

8 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	1	-	1	-	1	2	2
自由鍛造	-	1	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	-	-	-	-	-	-
合計	1	1	1	-	1	2	2

要因：・防衛関連増加。
 ・吊り具（クランプ）の特需による受注増。

- ・電力関連メーカーの増加
- ・半導体スパッタリング需要の増加

【減少】

10 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	2	1	2	-	1	-	3
自由鍛造	-	-	-	-	-	-	-
リング鍛造	-	-	-	-	-	-	-
併業	-	1	-	-	-	-	-
合計	2	2	2	-	1	-	3

要因：・半導体製造装置用ガス配管部品、作りすぎによる在庫調整続く。
 ・半導体関連回復の遅れ。
 ・産業ロボット用減速機の中国市場で需要回復せず減少。

2024年度
リスクアセスメント研修会を開催

去る3月4日、機械振興会館（東京都港区）研修室において、素形材産業安全衛生推進協議会（日本鍛造協会、日本ダイカスト協会、日本鑄造協会、日本鑄鍛鋼会）によるリスクアセスメント研修会を開催しました。

講師：中央労働災害防止協会

中災防安全衛生エキスパート 加藤雅章 氏

受講者数：21名

研修内容：(1)リスクアセスメントのPDCA「ゼロ災、品質向上、作業効率化」
 (2)リスクアセスメントの進め方と効果及び演習



当協議会では、毎年、安全衛生対策関連の研修会を実施しており、皆様のご参加をお待ちしております。

MANYO

ピレットシャー 30TON~1300TON

フォージグロール FR120~FR960

プレス 50TON~3000TON

アプセッター 200TON~2300TON



Tel 06-6458-0481